

■千代田区立一番町特別養護老人ホームの節電行動計画

施設名	千代田区立一番町特別養護老人ホーム	責任者名	施設長 今井 隆
節電目標	既に、平成18年度から計画的な節電に取り組 み、18年度対比30%超の削減を達成している ため、今回の節電対策に関しては、10%の節 電実施を目標とする	節電実績	現在の契約電力から、さらに3KW減量変更 した上で、下記の各対応を実行し、併せて全 館総点検を実施し、10%に相当する節電を達 成する

基本アクション		実行 チェック
照 明	・事務室の照明を半分程度にする。	○
	・居室以外のエリアの照明を間引きする。	○
	・使用していないエリア(玄関、ロビー等)は、消灯を徹底する。	○
空 調	・使用していないエリアは空調を停止する。	○
	・居室、廊下、事務室等エリア毎に適切な温度設定を行う。	○
	・日射を遮るために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム等を活用する。	○
OA 機器	・OA機器の管理を徹底する。	○
	・必要がない場合は窓や出入り口の開け放しをしない。	○

メンテナンスや日々の節電努力		実行 チェック
照 明	・照明機器の定期清掃を行う。	○
	・従来型蛍光灯をLED照明に交換する。	一部
	・夜間の照明管理の徹底をする。	○
	・可能な限り天井照明を消灯し、スポット照明を利用する。	○
空 調	・フィルターを定期的に清掃する(2週間に一度程度が目安)。	○
	・各種出入口、搬入口の扉等を必ず閉め冷気流出を防止する。	○
	・給湯循環ポンプの流量を確認し、流量の削減を徹底する。	○
	・調理機器、冷蔵庫の設定温度が必要な温度に対して、高すぎたり低すぎたりしないように確認する。	○
その他	・日中の電力消費のピーク時間帯は、居住エリアを限定して空調負荷を集中させる。	○
	・窓側にゴーヤ、ヘチマ、朝顔などのグリーンカーテンを作る。	一部
	・窓のブラインド、カーテンの開閉管理を徹底する。	○
	・水遊びなどの涼しくなる遊びを取り入れる。	○
	・自動販売機の管理者に冷却停止時間の延長等の協力を求める。	○
	・エレベーターが複数台ある場合、日中は一部停止する。	○
	・待機電力を削減する。	○
	・消費電力の大きい電気製品は平日の日中を避けて使う。	○
・昼食・夕食の調理時間の柔軟化を検討する。	○	
・クールビズ対策の徹底。	○	

職員及び利用者への節電の啓発		実行 チェック
節電 啓発	・節電リーダーを選出し、具体的な取組を行う。	○
	・朝礼時に毎回節電のアナウンスをして意識付けを行う。	○
	・施設全体の節電目標と具体策について、職員全体に周知徹底し実施する。	○
	・管理部門の節電対策(エレベーターの一部停止等)。	○
	・ピーク期間(7・9月平日の9時～20時)には、一斉放送でより一層の節電を呼びかける。	○

※厚生労働省策定フォーマットに準じて作成